

講談 × 津軽三味線 × 能楽

宗像みあれ芸術祭2026（関連企画）

ろうそく能「みあれ」

出光佐三と 宗像の女神たち

世界を拓いた男の見た夢

講談
神田 紅

津軽三味線
山口 ひろし

能楽
今村 嘉太郎

ほか

2026.11.3 火祝

13:00 開演 | 12:00 開場 ※15:15 頃終演予定

会場 | 大濠公園能楽堂

TICKET

■【S席(正面)】…………… 10,000円

■【B席(中正面・桟敷席)】…………… 4,000円

■【A席(脇正面)】…………… 7,000円

■【高校生以下(中正面・桟敷席)】…………… 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※座席は原則として、ご購入された区画内で自由席(先着順)となります。

チケットは下記にてご購入いただけます。

- 宗像現代美術展実行委員会（島田建築設計事務所）
TEL.092-722-3310（担当古島：平日10時～18時）
事前にお電話にてご連絡後、以下の方法でチケットご購入いただけます。

〈事務所窓口受取り／福岡市中央区天神〉

お電話にて詳細をお伝えしますのでご来店の上お支払い（現金のみ）・
お受け取りをお願いいたします。

〈郵送受取り／受付期間 10月15日まで〉

ご連絡いただいたお日にちより10日以内にお振込みいただき、ご入金確認後、
チケットをお送りいたします。

【振込先：福岡銀行 宗像支店（普）1886331 口座名：宗像現代美術展実行委員会】

※振込手数料はお客様のご負担となります。

※チケット代金のほかに、郵送料[簡易書留：460円]が必要となります。

※チケット到着までに1週間～10日程度お時間をいただきます。

- 今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局

TEL.070-5416-2621 または ✉yoshitarou0423@gmail.com

- 電子チケット販売

その場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。詳しくは、
右記の二次元コード、または、下記のURLでご確認下さい。

<https://teket.jp/12173/75632>



▲ 電子チケット

※ご購入されたチケットのキャンセル・払い戻し・変更はお受けいたしかねます。
あらかじめご了承ください。



ACCESS

大濠公園能楽堂 福岡市中央区大濠公園1-5

- 市営地下鉄でお越しの場合

福岡市地下鉄「大濠公園駅」または「唐人町駅」より徒歩約7分

- 西鉄バスでお越しの場合

「黒門」または「大濠公園」バス停より徒歩約5分



▲ アクセス

※周辺の有料駐車場に限りがあるので、公共交通機関でのご来場をおすすめいたします。

お客様へのお願い

- 開演後・演奏中の途中入場はお断りする場合があります。時間に余裕を持ってご来場ください。
- 公演中は、携帯電話・PHS等の電源を必ずお切りください。
- 前の座席を蹴ったり、前に身を乗り出したりする行為は、他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
- 公演中の飲食はご遠慮ください。
- 写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。

info

お問い合わせ：宗像現代美術展実行委員会事務局 ☎080-4454-7911

主催：西日本新聞社、宗像現代美術展実行委員会

共催：宗像市、宗像市教育委員会、宗像大社

協力：世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

<https://miare-art.com/>



▲ 公式サイト

多くのご協賛により、本新作能は実現しております。心より感謝申し上げます。

特別協賛：久原本家グループ・伊豆本店

協賛：出光興産・福岡銀行・溝江建設・西日本シティ銀行・新日本製薬・トヨタ自動車九州・
矢野特殊自動車・リックス・ふくや・九州電力・クラフティア・福岡倉庫・九州旅客鉄道・
全日本空輸・日本航空・西日本鉄道・木村組・ゼネラルアサヒ

ふくおか県芸術文化祭助成事業

後援：朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・RKB毎日放送・
FBS福岡放送・KBC・テレQ・テレビ西日本・FM FUKUOKA・CROSS FM・
LOVE FM・九州旅客鉄道株式会社・西日本鉄道株式会社



ふくおか県芸術文化祭
Fukuoka Arts and Culture Festival



この事業は、宝くじの収益金を活用して実施しています。

神話の海から、未来へ。

宗像三女神の神話と、

宗像から世界へ羽ばたいた実業家・出光佐三の物語。

第1部では、

講談、津軽三味線、能が響き合い、

新たな舞台「みあれ」を描きます。

第2部では、

ろうそくの灯りに包まれた幻想的な新作能で、

この土地が育んだ海の物語をお楽しみください。

※「みあれ」とは、神が新たに生まれ出ること
を意味する言葉で、宗像大社の秋季大祭
「みあれ祭」にも通じます。ひいては、自然
や人の営みをはじめ、あらゆるものの再生
の力をあらわすことばとして、本公演では
それを芸術というかたちで表現しようと
しています。

第一部

能の舞「海の調べ」

舞・今村嘉太郎、津軽三味線・山口ひろし、太鼓・吉谷潔

津軽三味線「津軽じょんから節」ほか

山口ひろし、宮沢莉乃音・愛乃音・詩乃音

創作講談「出光佐三と宗像三女神」

講談師・神田紅

〈休憩〉

第二部

解説 山口ひろし×今村哲朗

ろうそく能「みあれ」をより深く楽しむために。

ろうそく能「みあれ」

ろうそくの灯りによる特別演出

作・森弘子『新修宗像市史』編纂・編集副委員長

後見

井内政徳
大西礼久

シテ（田心姫）

今村嘉太郎

笛 森田光次

ワキ（船頭）

御厨 誠吾

小鼓 幸正佳

地謡

林本大

アイ（海賊と呼ばれた男）

野村万禄

大鼓 白坂信行

今村哲朗

アイ（太郎冠者）

吉住 講

太鼓 吉谷 潔

今村一夫

津軽三味線

山口ひろし、

宮沢莉乃音・愛乃音・詩乃音

渡辺 融

【解説】「海賊と呼ばれた男」が故郷・宗像の酒と肴を前にめぐらす海の記憶。やがてその情景は、漁師たちが
姫神を迎える舟を操り沖ノ島へ渡る光景へ。祭の波が最高潮に達するとき、海原は折りて満ちわたる――。

観世流 能楽師

今村嘉太郎 Imamura Yoshitaro

1980年福岡生まれ、福岡在住。大西智久に師事。幼少より祖父・誠、父・嘉伸に稽古を受ける。

1982年、能「鞍馬天狗」にて初舞台。2003年、東京藝術大学卒業。2010年独立。「千歳」「狸々乱」「石橋」「道成寺」「望月」「安宅」「翁」を披く。

よしとろう会、妙音無我、福岡能楽大連吟を主催。一般社団法人「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」理事。

津軽三味線奏者

山口ひろし Yamaguchi Hiroshi

4歳で初舞台を踏む。津軽三味線を父・山口孝次に、青森県黒石市にて千葉勝弘に師事。南部三味線を夏坂菊男に、長明三味線を東音 菊岡裕晃に学ぶ。

1990年～1996年、津軽三味線の大会で数々の賞を受賞。2001年、東京藝術大学大学院音楽研究科修了。国内のみならず外務省他からの依頼によりアジア・オセアニア・北米・ヨーロッパ・アフリカ等で公演。2023年以降、宗像みあれ芸術祭に出演。

伝統に根ざしながら、ジャンルを超えた創作活動にも意欲的に取り組む。

講談師

神田紅 Kanda Kurenai

福岡県出身。早稲田大学商学部中退。文学座付属演劇研究所を経て女優の道を歩き始めるが、二代目神田山陽と出逢い弟子入り。平成元年真打昇進。

明るくわかりやすい芸風で、古典と同時に創作講談や芝居講談を手掛ける。平成14年紅一門を旗揚げ。弟子は45人。前・日本講談協会会長。講談の普及のため講談教室「紅塾」で東京、福岡合わせて100余名の生徒を熱心に指導している。

現在「全日空機内寄席」でパーソナリティを務める。近著は自伝「紅流 女講談師として生きて」